ミズ スクエア
Ms. SQUARE

きよせ女性広報
2022. 4

100

創刊100号記念号

清瀬市男女共同参画センター（アイレック）

祝！100号

男女共同参画とMs.スクエアの歩み

1991

創刊号　清瀬北口地区再開発（1991年）

記念すべき創刊号！31年後の今、清瀬は市民にとって住みやすい街になっているでしょうか。女性広報誌の誕生に、編集委員の方々の希望と興奮が伝わってきます。

20号　アイレックはであいの場（1996年）

市民参加型の施設として誕生した「アイレック」の様子がイラストでわかりやすく特集されています。本号からMs.スクエアの企画・編集は秘書広報課から男女共同参画センターへと移りました。

29号　女性行動計画と私たちの暮らし　働き続けたい女性のために（1998年）

多様な生き方を選択できる時代。女性が職業を持ったとき、結婚・出産・子育て・介護など乗り越えなければならない困難さは今も変わらず存在しています。女性が前向きに生きていける支援の充実を願います。

34号　2000年の幕開けに　私たちの夢（2000年）

新しい世紀に向け、編集委員が清瀬に込めた〝夢〟にあふれた本号。22年経った今、多くが実現していることに驚きます。皆さんは、どんな夢を思い描きますか？私たち編集委員の未来の夢はp.8をご覧ください。

2000

39号　DV＝夫や恋人により女性への暴力　逃げられないのはなぜ？（2001年）

この年、DV防止法が施行。DVは犯罪であり、女性への人権侵害です。実例を挙げながら、誰にでも起こりうることとして「逃げられない」メカニズムを解説しています。

44号　夫婦別姓を考える（2002年）

法務省において選択的夫婦別姓制度の導入が提言されたのは1991年。31年経った今もその制度は実現に至っていません。

50号　変わったこと、変わらないこと（2004年）

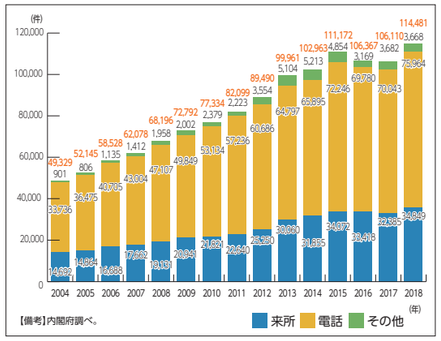
現役のMs.スクエア編集委員と元編集委員との座談会形式で創刊からの12年を振り返ります。Ms.スクエアをきっかけに視野が広がり、地域での活動につながっていく姿が描かれています。

62号　もっと知ろうよ自分のからだ（2008年）

「女性のからだの仕組み」について、具体的に分かりやすく解説しています。知識を持つことが自分の身を守ることにもなると伝えています。

2010

図1　配偶者暴力相談支援センターへの相談件数



クイズ1

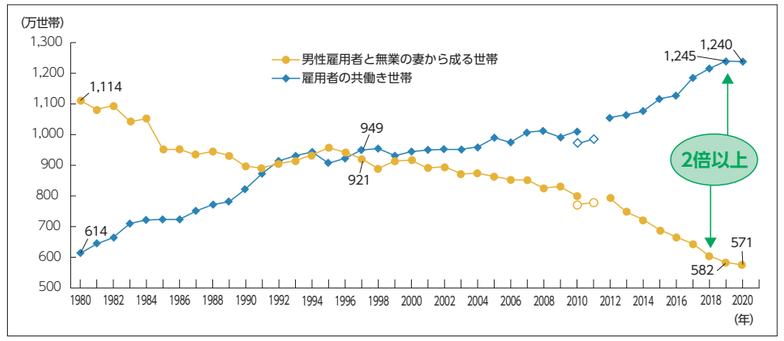
無業の女性のうち、就業希望者数は？

①198万人　②104万人

③231万人

2014年から5年連続で10万人を超える高水準で相談件数は推移しています。その陰には、相談に至らなかった多くのケースがあると考えられます。

図2　共働き等世帯数の推移



26年前に共働き世帯が男性雇用者と無業の妻からなる世帯を逆転し、現在は共働き世帯が男性雇用者と無業の妻からなる世帯の2倍以上となっています。

★クイズの答えはp.6に掲載

育児休業法施行 '91
パートタイム労働法施行 '93
子どもの権利条約批准 '94
高校家庭科男女必修化 '94
阪神淡路大震災 '95
育児休業法が育児・介護休業法へ改正 '95
第4回世界女性会議 '95
男女共同参画センター（アイレック）開設 '95

清瀬駅前アミュービル

児童買春・ポルノ処罰法施行 '99
男女共同参画基本法施行 '99
第1次清瀬市男女平等推進プランを策定 '00
太田房江氏が女性初の大阪府知事に就任 '00
女性2000年会議 '00
ストーカー行為規制法施行 '00
DV防止法施行 '01
少子化社会対策基本法施行 '03
七生養護学校の性教育に対する不当介入事件 '03
清瀬市児童センター（ころぽっくる開所） '05
『麦畑をかけぬけて ―聞き書き 清瀬の女たち―』男女共同参画センター編集・発行 '06

清瀬市男女平等推進条例制定 '06
男女雇用機会均等法改正 '06
ワーク・ライフ・バランス憲章策定 '07
第2次清瀬市男女平等推進プラン '08
リーマンショック '08
育児・介護休業法改正 '09

手を組めば　新しい風

ともに認めあうこと、ともに支えあうこと

Ms.スクエア誕生とアイレック

1991年の11月に「ひとりでも多く市政に関心を持ってもらえるように」という主旨で女性向けに創刊されたMs.スクエア。創刊号で駅前の再開発について特集した際に、アミュービル4階の使い道を検討中ということを知った編集委員が中心となり「女性センターを」という思いが生まれ、市議会へ陳情を行い協議を重ねました。

その結果、1995年「アイレック」の愛称で男女共同参画センターが開設されました。女性たちが中心となって歴史を重ねてきた、Ms.スクエア、そしてアイレック。これまでの歩みに敬意と感謝の気持ちを込め、100号がより多くの方に届くことを願います。

陸前高田市の「奇跡の一本松」

UN Women 正式発足 '11
東日本大震災 '11
パートタイム労働法改正 '14
マララ・ユスフザイさん ノーベル平和賞受賞 '14
男女平等推進条例
「子どものためのガイドブック」
男女共同参画センター発行 '14

SDGs目標5で「ジェンダー平等」が掲げられる '15

女性活躍推進法施行 '15
小池百合子氏が東京都知事に就任 '16
刑法改正 強姦罪が強制性交罪となり法定刑も見直し '17
伊藤詩織さん性的暴行事件をきっかけにした#me too 運動 '17
女性起業応援事業
きよせdeフェスタ開催 '18
第3次男女平等推進プラン '18
政治分野における男女共同参画の推進に関する法律施行 '18
女性や浪人生を不利に扱う「医学部不正入試問題」が発覚 '18
平成（31）から令和へ '19
新型コロナウイルス感染症、世界的に広がる '20
東京オリンピック・パラリンピック開催 '21
民法の成年年齢18歳へ引き下げへ '22

※黒字は男女共同参画に関することや社会的な出来事、青字は清瀬に関係する出来事です。

2011

71号

政治の場へもっと女性を（2011年）

「男女共同参画社会基本法」制定から約10年の発行当時。女性の政治参加率が2割にも満たない問題が取り上げられています。本号から、さらに11年経った今、残念ながら状況は悪くなっています。

73号

20年で変わったこと　変わらないこと～きよせMs.スクエア創刊20年を記念して～（2011年）

Ms.スクエア創刊から20年の間に、男女平等への意識や私たちの生活がどのように変化したかについて、グラフ等で分かりやすく示されています。

74号

女性の視点から災害を考える～なぜ防災や復興に女性の視点が必要なのか～（2012年）

東日本大震災によって女性の身に起きた問題とは？女性の視点からのリスクを知り、災害に備える必要性を訴えています。

2015

85号

アイレック開設20周年記念号～男女共同参画を振り返る～（2015年）

男女平等の社会を目指し、市民が熱望し誕生したアイレック。その20年の変遷を年表とイラストで分かりやすく示しています。

86号

セクシュアル・マイノリティってなに？（2016年）

性的マイノリティについて取り上げた号です。いじめや差別につながらぬよう、性のあり方は多様であると知ることが第一歩だと伝えています。

87号

考えよう、自分の働き方　認め合おう、みんなのライフスタイル（2016年）

真の男女共同参画社会を求めることは、自分らしい働き方を求めること。様々な企業・組織における女性の活躍について取り上げています。

91号

誰にでもおとずれる介護～それぞれの視点で～（2017年）

介護離職者の2／3が女性という実態があります。介護する側、受ける側、介護を仕事とする人それぞれの立場のリアルを紹介しています。

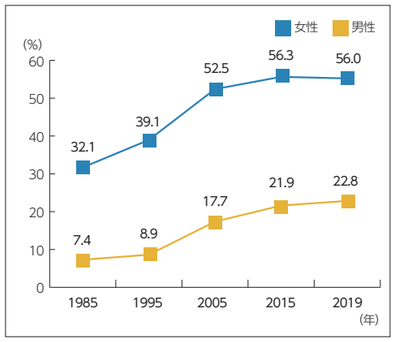
92号

Mr.スクエアの選択～男は「つらいよ」から「自分らしく一歩」を～（2018年）

「男性の生きづらさ」について取り上げています。「男らしさ」に縛られず、自分らしく生きるモデルとして、清瀬の「メンズリブ※」が紹介されています。
※男らしさからの解放を訴える思想や運動のこと。

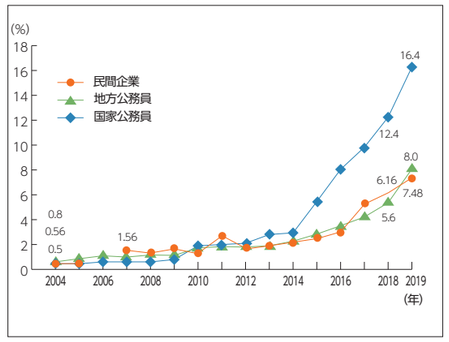
クイズ2
子育て期にある男性の育児・家事時間は女性の何分の1？
①2分の1　②4分の1　③5分の1

図3　非正規雇用比率の推移（男女別、年齢計）



非正規雇用で働く女性の数は、同男性の2.5倍となっています。また、給与面でも男女間の格差があります。女性正社員・正職員の給与水準で比較しても、同男性の74％であり、先進国の中でも20年以上、最下位のままです。

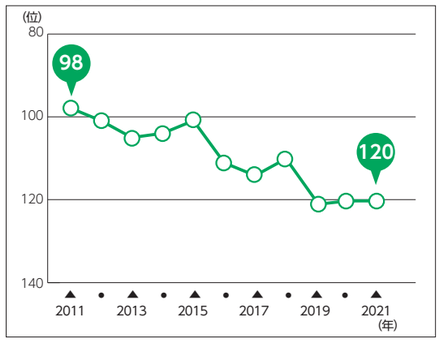
図4　男性の育児休業取得率の推移



男性の育児休業取得率はここ5～6年は増加傾向にあるものの、国家公務員を除き、1割以下にとどまっているのが現状です。

クイズ3
国内の管理的職業従業者に占める女性の割合は何パーセント？
①15％　②21％　③25％

図5　男女格差を示す　ジェンダーギャップ指数の順位



日本のジェンダーギャップ指数は、この10年で大きく下がりました。現在は世界156か国中120位。先進国の中で最低レベルです。政治・経済等の意思決定の場に女性が少ないことが主な要因です。前回の衆議院議員選挙では、女性議員の比率はわずか9・7％でした。
※国際的なジェンダー比較では各国の国会下院（日本は衆議院）に占める女性議員の割合で比較

※図1・3　ひとりひとりが幸せな社会のために令和2年度版データ　内閣府
図2・4　令和3年度男女共同参画白書　内閣府
図5　世界経済フォーラム

★クイズの答えはp.6に掲載

Ms. スクエアが発行されるまで

Ms. スクエアはどのように作られているか、皆さんはご存知でしょうか？実は、公募で選ばれた女性の編集委員６人が、 男女共同参画センターの職員やアドバイザーと協力しあいながら取材したり記事を執筆し、誌面を作っています。
今回は、過去の編集委員のコメントや Ms. スクエアが発行されるまでの流れを 99 号完成までを例にご紹介します！

福田　けい さん
（2001 ～ 2003 年編集委員）

Ms. スクエア編集委員としての活動が、アイレックとの関わりのスタートでした。

テーマ決めから構成、対象者へのインタビュー、関連書籍の選定に至るまで何度も会議を設けました。インタビューからのテープ起こし、原稿を作成し、そして編集の醍醐味ともいえる話合い。「もう少しジェンダーの視点を盛り込むべき」「適切なインパクトのある語彙があるはず」結論に至らず次回の会議に持ち越される事もしばしば。先輩達からジェンダー論の基礎を教えていただき、自分の意識の中に少しずつ根付いていく過程も嬉しい時間でした。

この２年間の経験を基に、その後、携わった『麦畑をかけぬけて』の編集では、明治から昭和にかけて清瀬という土地で生きてこられた多くの方々との出会いがありました。

福田　祥子 さん
（2015 ～ 2020 年まで編集委員を経て表紙や誌面イラストを担当）

アイレックや Ms. スクエアには本当にお世話になりました。自分の生活や生き方、キャリアのことを考えるきっかけをいただいたことを本当に感謝しています。

こうたろう さん
（2020 年～表紙イラストを担当）

編集委員の方々からはいつも、テーマに対する真摯な姿勢と「伝えたい」という熱意を感じます。そういった想いや、多様な視点・意見によって支えられ、表紙のイラストが生まれています。背景から小物にいたるまで、じっくり眺めてみてください！

スタート

公募で編集委員になりました。がんばるぞ！

何を特集のテーマにするか話合い

日々、時事問題にもアンテナを張っています

テーマの絞り込み・資料集め

新聞記事　ネット　本　報告書　データ

会議は保育もあるので安心

手法を検討

写真イラスト　寄稿依頼　インタビュー　座談会　クイズ

議論を深め、役割分担を決定

年表タイムライン

誌面のレイアウト・流れを検討

●イラストや図形で工夫
●清瀬に関する情報を活かす
●国際的なデータで比較

取材・記事原稿の執筆

とにかくまずは書いてみる！

執筆原稿を確認 タイトル・説明文の作成・表紙依頼

わかりにくい表現、不適切な表現はないかな？

直前まで推敲、原稿を印刷会社に送付

初校※ 検討 加筆・修正

●表紙・レイアウト・データの見え方を確認
●誤字・脱字の確認

２校・３校検討

ちょっとした誌面の色合いも、メッセージの一つなので、最後まで議論が続きます。

パワーポイントの原稿で入稿

初校の修正依頼

※印刷会社から最初にレイアウト通りに刷り上がってくるのが初校、
さらに修正を加えて２度目に出てくるのが２校、３度目に出てくるのが３校

完成！

できた！

市内全戸に配布

竹下　江里子 さん
（2016 ～ 2018 年編集委員）

編集委員としての私は、子どもとともに成長しました。幼い子を連れて消防署に取材したこと、首が座ったばかりの子と一緒に会議に参加したこと、貴重な体験でしたが、いつも感じたことは清瀬の人の優しさでした。

我が子たちは、子ども番組から流れる「みんな違って､みんないい」の歌を口ずさみます。その意味を伝えられる知識を学べた Ms. スクエアは私の誇りであり、これからも学び続けたいと思う原動力です。

髙橋　佑夏 さん
（2017 ～ 2020 年編集委員）

95 号「本を読もう」特集は印象深いです。話題のフェミニズム小説について座談会をしたり、図書館でインタビューをしたり…。当時の編集委員は全員が子育て中でしたが、手分けしてたくさん本を読みました。生き方のヒントになる情報を届けたくて、知恵を出し合いましたね。

「個人的なことは社会的なこと」だから、一人で抱えずに語り合えば素敵なアイデアに繋がります。Ms. スクエアでご縁のあった方々は、特集がきっかけで「絵本屋しるく」を起業した今でも最強の友人です。

クイズの答え：
Q1 ①、 Q2 ③、 Q3 ①

参考：ひとりひとりが幸せな社会のために　内閣府

編集後記　山﨑
2年間活動した最大の喜びは、知的な編集メンバーとの出会い･～さんの妻～君の母でなく一人の女性として、私に接していただけたこと。完成時の達成感とこの経験を、一生忘れることはないでしょう。

編集後記　湯浅
編集に携わり、男女共同参画は誰にでも関係のあること、なおざりにすることの出来ない課題だと再認識しました。男女共同参画の視点で物事を見る癖がついたように思います。

Ms. スクエア編集委員が描く未来

今号は、Ms. スクエアの歩みを男女共同参画に関するできごとに絡めて年表にしました。しかし過去を振り返るのみでなく、私たち編集委員は「これからの社会がこうなったらステキだな」と思う未来を語り合ってみました。20 年後、30 年後に振り返って、「思い描いた通りの未来が実現しているね」と思えるよう、一歩一歩進んでいきたいです。

誰もがいきいき と暮らせるまち

歩いて行けるコミュニティの場

年齢に関係なく、いろんな働き方ができる

男性が育休を当たり前に取得できる

誰でも気軽に立ち寄れる

いろんな形の家族が暮らしていける

ジェンダーバイアスを無くすための取り組みや教育がある

一人ひとりの個性に合った教育が受けられる

自転車で動けるまち

自転車専用レーンが整備されている

農業が身近にある

豊かな緑と川が残されている

無電柱化が進み、誰もが安全に移動できる

再生可能な自然エネルギーが普及している

インクルーシブ公園

車イスで遊べる砂場がある

大人と一緒に乗れるブランコがある

障害のある子もない子も一緒に遊べる

困った時に子どもを安心して預けられる

困難な立場にある子どもの権利が尊重される

子育て支援・介護支援団体が発展していける

女性がリーダーシップを発揮できる

まちの保健室

街中に安心して使用できる多機能トイレがある

子どもや 10 代 20 代の若い女性がこころとからだについて気軽に相談できる

多様な性・多文化を認め合える

編集後記 奥澤 Ms.スクエア創刊100号という大きな節目に立ち会えたことは、私にとって大変幸運、光栄なことでした。先輩方が必死に切り拓いてきた歴史の上に今の私たちがあるのだと知り、このバトンを繋ぐ重みに身が引き締まる思いです。

編集後記 篠原 Ms.スクエアに込められた希望、願い。その背景にはいつも「だれかを想うやさしさ」があるように思います。女性が前向きに生きている社会、多様なひとがいること、多様な生き方を認め合える未来がくることを信じ、歩みを続けていきます。

第26回アイレックまつり

「私が写真を通して伝えたいこと」

～紛争地、被災地からの声～

フォトジャーナリスト　安田菜津紀さん　　2021年11月27日　講演会

アイレックまつりの一環で、フォトジャーナリスト安田菜津紀さんの講演会が催されました。コロナ禍で2度の延期を経て、待ちわびていた講演会でした。ご自身で撮影された写真に、説明を加えながら話は進められました。

社会が抱えている問題を伝えていく

「フォトジャーナリスト」とは、写真とことばで、世界でいま何が起きているのかを、伝えることだと思います。

今年3月にスリランカ人女性ウィシュマ・サンダマリさんが名古屋出入国在留管理局に収監され、そこで亡くなりました。彼女の死は女性や外国人の人権に関わる多くの問題を含んでいます。例えばこうした、社会が抱えている問題を知らない人に伝えていく、これもジャーナリストの役割だと思います。

大人のひとりとして私に何ができるか

紛争続くシリアでのこと。自宅前の路上で遊んでいた兄妹が被弾し、長兄は即死、次兄は右目を失い、8歳の妹、サラちゃんは片足を切断するほどの重傷でした。サラちゃんが私に言いました。

「私たちは何も悪いことしていないよね。だから、もうこんなことはやめて欲しいと、おっきい人たちに伝えて」「おっきい人たち」とは大人のこと。「おっきい人」の一人として、私はここ日本で何ができるだろう、そう考えます。

仮設住宅とシリアをつなぐもの

「3・11」以後の陸前高田市へは、何度も足を運びました。私がシリアのできごとを伝えた、ある仮設住宅でのこと。子どもたちが大きくなり着られなくなった衣類をシリアに送ろうという話が住人の中でまとまり、段ボール10箱の衣類が集まりました。

「東日本大震災では、世界中から支援を受けたさ。今度は『恩返し』ではなく、『恩送り』なんだよ」。仮設住宅に住む方に言われました。

この市でも、震災でたくさんの方が大切な人を亡くしています。その辛さと向き合ってきた10年間は、シリアの子どもたちの辛さと重なる面もあります。

写真を通して、私が感じたものを一人でも多くの方に感じとってもらえたらと思います。そして周囲の方と、「こんなことがあるんだよ」と話題にしていただけたらと、願っています。

（まとめ　山口）

アミューホールにて

故郷の味は海をこえて
「難民」として日本に生きる
／安田菜津紀著・写真
／ポプラ社

君とまた、あの場所へ
シリア難民の明日
／安田菜津紀著／新潮社

アイレック新着図書

「家事のしすぎ」が日本を滅ぼす
佐光紀子著 / 光文社新書

国際女性デーは大河のように
伊藤セツ著 / 御茶ノ水書房

女の子はどう生きるか
上野千鶴子著 / 岩波ジュニア新書

ルース・B・ギンズバーグ名言集：新しい時、新しい日がやってくる
岡本早織訳 / 創元社

日本のフェミニズム ― 150年の人と思想
井上輝子著 / 有斐閣

3万人の大学生が学んだ 恋愛で一番大切な“性”の話
村瀬幸浩著 /KADOKAWA

編集後記　山口
安田さんが紹介された写真で、朝日を背景に被災地海辺に凛として立つ1本松に胸を打たれます。そこが再び樹木豊かな地になることを、未だ仮説住宅に暮らす方々が早く安住の地に住めることを、願ってやみません。

Ms.SQUARE no.100　きらり　清瀬で生きる女性にインタビュー

寄り添う心を大切に

pattern office terry-k（パターンオフィス　テリーケイ）

内田 響子（きょうこ）さん

―から何かを作り上げる

小さい頃から祖母や母が洋裁をしていて、洋裁やミシンが身近な存在でした。また、手先を動かすことがとても好きで、手芸や工作、折り紙やお菓子作りなど、一から何かを作り上げることが好きな子どもでした。リカちゃん人形の洋服、お人形用の家や家具まで手作りしたんです。高校時代、服飾の仕事でパタンナーという職業を知りました。パタンナーとは、デザイナーが描いたデザインを服にするための型紙を作る仕事です。大学の被服科で学び、卒業後はアパレルでパタンナーとして様々なブランドを経験した後、独立しました。

伯母さんの笑顔が見たくて

ユニバーサルファッションを始めたのは、伯母の病気がきっかけです。症状が進行し、肩が上がりにくい、指に力が入らないなど着替えが困難になり、一人で着られる服が大きなサイズのトレーナー上下ばかり。元々おしゃれが好きな伯母が、お化粧をしなくなり「こんな自分を見られたくない」と友人とも会いたがらなくなりました。私ができることで役に立てたら、と、伯母の好みのデザインで身体に合わせた上着を作ったら、とても喜んでくれ、介助が必要だった着替えも一人でできるようになりました。病気で体が不自由になっても自分で着替えができ、好きな服を着ることで気持ちが明るくなることの大切さを知りました。

カニューレ・バンド※との出会い

ユニバーサルファッションの制作を始めて数年後の話です。子どもの同級生に、乳児の頃の事故で脳に障害が残り、医療的ケア児となった子がいます。カニューレ・バンドの作り方が分からないと、お母さんから相談され、一緒に作りました。

ある日突然、我が子が障害を負うと、親は障害を受け止めきれなかったり、子育て環境の大きな変化に戸惑ってしまう。そうした現状から、親が抱え込んだ気持ちを話せる場の必要性に気付きました。

※自発呼吸に障害のある人が気管切開した部分に着ける器具（カニューレ）の支え

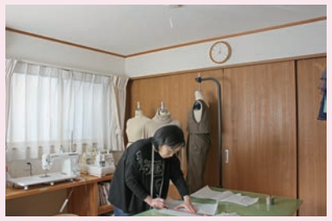
テリーケイのこれから

オーダーメイドの良さは、その人の好みのデザイン、色、生地、障害や困りごとに寄り添った服を作ることができ、〝究極のユニバーサルファッション〟だと私は考えます。

今後はオーダーメイドの他に、機能的な工夫のある洋服が作れる洋裁教室をやっていきたい。洋裁やファブリックステンシル、手芸を楽しみながら、皆で気軽におしゃべりができるサロン。また医療的ケア児の家族が、気軽に立ち寄ってホッと一息ついたり、ちょっとした相談などができたらいいなと思っています。車イスの方のウエディングドレスも作りたいですね。アイデアは尽きません。

お客様の気持ちを想像して寄り添い、困りごとを少しでも解消できたらと願って、これからも活動していきます。

（インタビュー　中嶋）



アトリエで制作に打ち込む内田さん

胸部からの点滴がしやすい、タートルネック風カットソー

HPアドレス
https://www.terry-k.jp
インスタアカウント
@pattern_office_terry_k
インスタURL
https://www.instagram.com/pattern_office_terry_k

編集後記　中嶋
Ms.スクエア100号が完成しました。大きな節目の号ですが、いつもと同じく市民目線で一つ一つの記事に丁寧に取り組んでいます。これからも、その姿勢は変わりません。

～あなたは一人ではない～ パープルキャンドルを実施

毎年「女性に対する暴力をなくす運動」（11月12日～25日）の初日には全国各地で紫色のライトアップが実施されます。清瀬市でも初めての試みとして、2021年11月12日にパープルライトならぬパープルキャンドルを実施しました。清瀬駅北口広場の2ヶ所に約1000本のキャンドルを灯し、普段のアイレックの活動では出会うことの少ない学生や帰宅途中の人たちと一緒にキャンドルを灯し、暴力の被害者に「あなたは一人ではない」というメッセージを届けました。

清瀬駅北口でのパープルキャンドル

男女平等推進委員を募集します!

市では、男女共同参画社会の実現を目指し「清瀬市第3次男女平等推進プラン」を推進しています。このたび、プランの実施の評価や中間見直し等を行う男女平等推進委員会の委員を募集します。

対象：市内在住で男女平等推進施策に関心のある方で、年間4回の男女平等推進委員会に出席できる方
募集人数：6名以内
任期：令和4年7月1日から2年間
申込み期間：4月15日～5月20日
応募方法：下記のQRコードから応募いただくか、応募動機を800字程度にまとめ、住所・氏名・年齢・職業・電話番号・メールアドレスを記入し、男女共同参画センターへ郵送・ファクス、または直接、ご持参ください。

応募はこちらへ

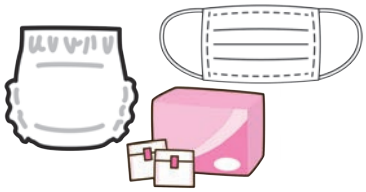
性的マイノリティに関する取り組み③

「カフェきよにじ」を2022年1月8日に開催しました。コロナ禍で実施が見送られてきましたが、やっと3回目のカフェを実施することができました。LGBTQ当事者、理解者（アライ）がゆるやかにつながる、出入り自由の場です。

自分の経験談や「男の子の色、女の子の色」など参加者が希望したテーマでのお話は尽きませんでした。今年度も感染防止策を徹底しながら、つながりの場を実施できる時期を判断していきます。開催の際には、市報、ホームページなどでお知らせします。

コロナ禍に生きる女性のためのSDGsプロジェクトの一環として、経済的貧困など様々な事情でお困りの女性へ、生活用品をお渡ししています。

配布物
- 紙おむつ
  （新生児～ビッグサイズ）
- 不織布マスク
- 生理用品
  ※いずれも数に限りあり



配布場所
- 清瀬市役所　生活福祉課
- 男女共同参画センター
- 子ども家庭支援センター
- いっぽ（きよせ生活支援センター）
- 元町こども図書館

SDGsプロジェクト ホームページ

お問い合わせ　NPO法人ダイバーシティコミュ
✉ info@diversitycommu.com　☎042-508-2650

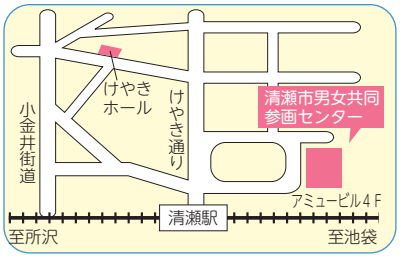
Ms.（ミズ）は女性を総称し、スクエアは広場や広報を意味しています。
アイレック（ILEC）とは、Information（情報）・Learning（学習）Exchange（交流）・Consultation（相談）の頭文字をとった「清瀬市男女共同参画センター」の愛称です。

次号101号の発行は2022年10月1日です。
発　　行／清瀬市男女共同参画センター
発行日／令和４年（2022）年４月１日
企画・編集／清瀬市男女共同参画センター
〒204-0021 清瀬市元町1-2-11　アミュービル4階
☎042-495-7002　FAX 042-495-7008
女性広報「Ms.スクエア」編集委員会
編集委員：奥澤礼子／篠原由美子／中嶋オト／山口政子／山﨑奈緒／湯浅三枝子
誌面イラスト／こうたろう／篠原由美子／湯浅三枝子

「Ms.スクエア」の音訳CDを作成しています。ご希望の方は、男女共同参画センターへご連絡ください。

皆さまの声募集中

「Ms.スクエア」は公募による市民の編集委員6人が企画編集して発行している情報誌です。100号はいかがでしたか？ご意見、ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどを、郵送・FAXでアイレックまでお寄せください。



「Ms.スクエア」はシルバー人材センター（☎494-0903）会員がお届けしています。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。